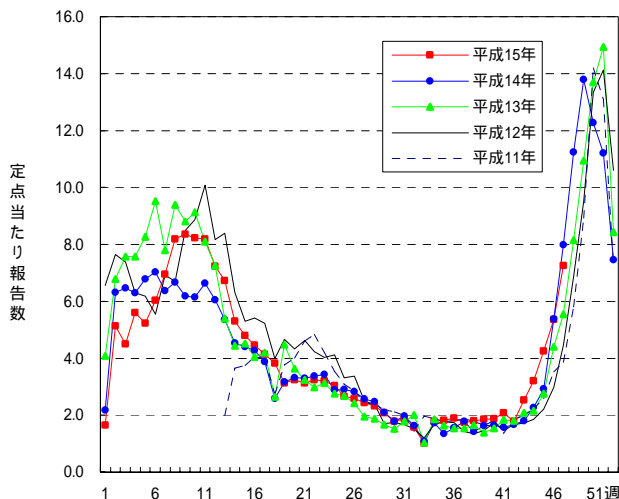
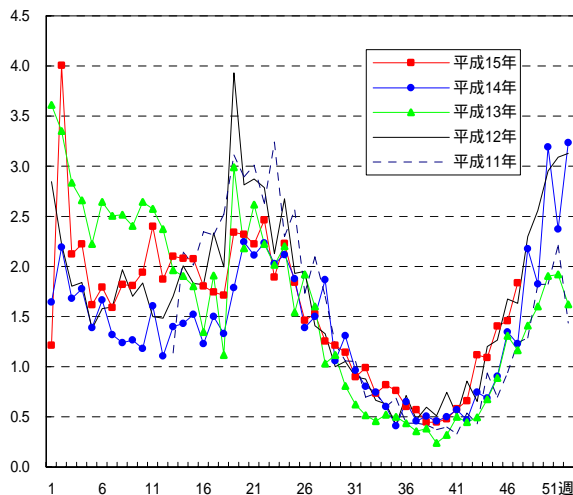


流行状況

感染性胃腸炎



水痘



疾患名	前週	今週	備考
<u>感染性胃腸炎</u>	5.4 ▲	7.3 ▲	細菌あるいはウイルスなどの感染性病原体による嘔吐、下痢症
<u>水痘</u>	1.5 ▲	1.8 ▲	「みずぼうそう」とも呼ばれ、ウイルスが原因で発生する人から人につる感染症
<u>A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</u>	1.3 ▲	1.5 ▲	レンサ球菌のうち血清型分類のA群に分類されるものによる上気道感染症
<u>マイコプラズマ肺炎</u>	0.46 ▲	0.62 ▲	マイコプラズマとよばれる病原体による空咳と胸痛が特徴的な肺炎 8 定点からコメントでの患者発生報告あり

定点当たり報告数	定点当たり報告数	定点当たり報告数
↓ 減少	→ 横ばい	▲ 増加

感染症についての説明及びグラフ総覧については、
愛知県衛生研究所のホームページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/>)

トピックス

感染症法に基づく医師から都道府県等への届出基準

11月5日付けで感染症法に基づく医師から都道府県等への届出基準が改正されましたので、衛生研究所ホームページに掲載致しました。

下記URLをご覧ください。

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokede.html>

定点の先生方からのコメント

尾張西部地区

病原性大腸菌O11 4歳女

病原性大腸菌O126 3歳女

ロタウイルス 子供12名

ロタウイルス感染症が非常に多いです。

【尾西市 城後小児科】

マイコプラズマ気管支肺炎 5歳男、7歳女

水痘流行中

【一宮市 後藤小児科医院】

4歳女 マイコプラズマ肺炎

2ヵ月女、生後2週間男 急性細気管支炎（入院後 RSV抗原（+））

1歳男 サルモネラO7群

【一宮市 あさのこどもクリニック】

RSV陽性2例入院しました。

A型インフルエンザ1例出ました。

【稲沢市 稲沢市民病院】

3例とも、インフルエンザのテスト陰性です。

【一宮市 かすがい内科】

手足口病がまだ散見されます。初夏に流行したものと症状が異なります。

カンピロバクター（5歳女、33歳女）家族です。

【犬山市 武内医院】

嘔吐を伴う感染性胃腸炎の流行続いています。

【江南市 みやぐちこどもクリニック】

急性胃腸炎が目立ってきました。相変わらず溶連菌も続発しています。

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

7歳女、39歳女 嘔吐下痢を伴った胃腸カゼが流行して参りました。

【春日町丹羽医院】

尾張東部地区

感染性胃腸炎が増えはじめました。

相変わらずマイコプラズマ肺炎が多くみられます。

【瀬戸市 津田こどもクリニック】

今週も学童、幼児のアデノウイルス感染症多くみられました。(咽頭結膜熱(4歳男児)も1例あり)

手足口病が特定の保育園で流行しているようです。

流行性耳下腺炎もみられます。

溶連菌が少しみられるようになりました。

マイコプラズマ肺炎学童に流行中です。

【尾張旭市 医療法人誠和会 佐伯小児科医院】

胃腸かぜ、水痘多発しています。

咽頭結膜熱つづいています。

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

今週は感染性胃腸炎が多くみられました。

【春日井市 かちがわ北病院】

嘔吐中心の感冒性胃腸炎流行。

ムンプスもまだ流行っている。

【小牧市 小牧市民病院】

アデノウイルス感染症と感染性胃腸炎が目立ちます。

【小牧市 志水こどもクリニック】

感冒性胃腸炎やや多い。

【南知多町 医療法人大岩医院】

嘔吐を主訴とする消化不良症増えてきました。

【東海市 小児科ハヤカワ医院】

今週は感染性胃腸炎が多くなりました。

【大府市 まえはらこどもクリニック】

西三河地区

3歳男女、4歳男女、5歳男女、6歳男、8歳男女、9歳男、10歳男 St rep A (+) (溶連菌検査)

3歳男、9歳男 イムノカードアデノウイルス(+)

【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】

5歳女 B型インフルエンザ

5歳男 A+B型インフルエンザ

【豊田市 すくすくこどもクリニック】

10歳女 マイコプラズマ感染症

7ヵ月男 病原性大腸菌O15

【岡崎市 花田こどもクリニック】

3歳女、4歳男 病原性大腸菌O6 VT(-)

1歳女 カンピロバクター

1歳男 病原性大腸菌O18 VT(-)

【岡崎市 にいのみ小児科】

1歳男 アデノウイルス 滲出性扁桃炎

6歳女 マイコプラズマ肺炎

【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】

水痘、嘔吐下痢症増加

【碧南市 永井小児クリニック】

アデノチェック 陽性5名

ムンプスの子供1名アミラーゼ値正常、IgMのみ上昇

【知立市 宮谷クリニック】

2歳女 ヘルペス性歯肉口内炎

【西尾市 やすい小児科】

A 群溶連菌感染症と胃腸炎が目立ちました。

【西尾市 山岸クリニック】

1 歳男 病原性大腸菌 O15 VT (-)

4 歳女、13 歳女 病原性大腸菌 O1 VT (-)

【幸田町 とみた小児科】

6 歳女 マイコプラズマ肺炎

溶連菌感染症、感染性胃腸炎が増えてきました。

【三好町 三好町民病院】

東三河地区

3 歳男 サルモネラ O4

9 歳男 カンピロバクター

幼稚園でマイコプラズマ肺炎様症状で 8 人欠席

【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】

水痘が少しずつ増加してきています。

【豊橋市 あずまだこどもクリニック】

3 歳女 5 歳女 マイコプラズマ肺炎

2 歳女 アデノウイルス扁桃炎

【豊橋市 野村小児科】

嘔吐症大流行 何かのウイルス感染か

【蒲郡市民病院】

水痘が散発してます。(同胞例が目立つ)

【田原市 かわせ小児科】

一～三類感染症の発生状況

- 愛知県(名古屋市を除く。)-

発生報告なし

四類・五類(全数把握)感染症の発生状況

- 愛知県(名古屋市を除く。)-

オウム病 1 例 46 週の追加報告

マラリア 1 例(三日熱 推定感染地域:インド) 48 週報告分

愛知県衛生研究所企画情報部（文責 磯村）

山茶花山茶花咲いた道、落葉だ落葉だ落葉焚き....ポケットに手をつっこんで朝の通勤路で歌ってみても、山茶花は毎年のように咲いても落葉焚きにお目にかかることはなくなりました。いつも貴重な情報を有難うございます。11月前半のまとめをお送りします。

- 1) 名古屋市内：名鉄病院福田先生からはウイルス性の気管支炎、肺炎、クル-ブ症候群が増加傾向でロタウイルス感染症発生、季節はずれの手足口病あり、マイコプラズマ肺炎は依然として多く無菌性髄膜炎の小流行あり、第一日赤松山先生からは溶連菌感染症散見し急性気管支(肺)炎の入院例が多い、城北病院渡辺先生からはアデノ陽性の発熱者少しあり、嘔吐や下痢まで行かない腹痛主訴の胃腸炎少し、マイコプラズマ陽性者は相変わらずでRS陽性者があるが増加傾向なし、第二日赤岩佐先生からはムンプスが目立ち、嘔吐ではじまる腸炎が多く要入院例目立つ、千種区今枝先生からは感染性胃腸炎11歳女兒1例、三菱病院入山先生からは感染性腸炎(病原性大腸菌O1、O18、O111など)、マイコプラズマを含む肺炎、咽頭炎の入院、気管支喘息発作、ヘルペス性口内炎歯肉炎、中京病院柴田先生からは嘔吐・下痢が増加、労災病院山田先生からは膿痂疹、ムンプス、水痘、マイコプラズマ肺炎、溶連菌感染症、細菌性腸炎(カンピロバクター-)、ロタウイルス腸炎、ウイルス性腸炎(嘔吐頻回で入院)、大同病院水野先生からはウイルス性腸炎(2-3歳児で腹痛嘔吐が中心、小学生になると腹痛下痢)が目立ち、時に白色便になるがロタ迅速診断陰性、マイコプラズマ肺炎が多く、細気管支炎が出始めたがRS迅速診断陰性とのお手紙でした。
- 2) 尾張地区：犬山市武内先生からは感染性胃腸炎増加中で、水痘と手足口病がおのおの瀬戸陶生病院山口先生からは特に目立つ傾向はなく、マイコプラズマ肺炎がとくにピークをこえたがまだ散見、常滑市民病院上田先生からは溶連菌感染症、ウイルス性胃腸炎、細菌性胃腸炎(カンピロ)、マイコプラズマ肺炎が目立ち、インフルエンザ入院例1例、インフルエンザ桿菌の髄膜炎入院が1例ありとのお手紙でした。
- 3) 三河地区：トヨタ病院木戸先生からは2-3日の高熱、胃腸炎が目立ち、アレルギー性紫斑病散在、少し前幼稚園でムンプスや溶連菌感染症流行あり、加茂病院梶田先生からはRSウイルス感染症とロタウイルス腸炎が増加傾向でマイコプラズマ肺炎が多く、インフルエンザ桿菌の髄膜炎入院が1例あり、知立市近藤先生からは感冒性嘔吐が多くなり、マイコプラズマ感染症も多く、ムンプスと水痘がパラパラ、刈谷市田和先生からはムンプスと感染性胃腸炎(発熱や頻の下痢あり)が少し目立ち、水痘がたまにあり、碧南市永井先生からは嘔吐下痢症と水痘が増加、豊橋市宮澤先生からは細菌性腸炎、マイコプラズマ肺炎、感冒性胃腸炎が目立つとのお手紙でした。有難うございました。

愛知県衛生研究所企画情報部 (文責 磯村)

2003年10月24日(78巻43号)

SARS。疫学レポート。03年10月17日、WHO専門家による35頁に及ぶ世界的な疫学調査研究結果の報告が発表された。報告中の主な結論の概略である。SARSは空気感染しない。主たる伝播経路は患者との直接接触(眼、鼻、口などから排泄される感染性のある飛沫感染)である。麻疹やインフルエンザのように1例の患者から空気感染で同室者全員が罹患したりしていない。この点から手洗いのような単純なことで発生を減少可能である。医療従事者は特に感染リスクが大きい。発病10日前後が最も伝播のリスクが大きい。解熱後10日以降、伝播しない。小児の発病は稀である。小学校などでの集団発生の報告はない。軽症者や不顕性感染者が伝播源となるかは今後の問題である。香港のメトロポリ・ホテルの発生は今後の検討が必要。03年2月下旬の同ホテルの集団発生は1罹患例から多数の患者発生、PCR法で長期にわたり環境中(患者滞在室の絨毯やエレベーター)にウイルス核酸が検出された、など今後の課題が残されている。航空機内での伝播。WHOの勧告に従うようになった03年4月27日以降は、航空機乗務員への伝播は発生していない。

04年のインフルエンザ流行期に対するインフルエンザワクチン組成。WHOの勧告。04年の流行期に対しては、A/ニュー・カレドニア/20/99(H1N1)、A/フィジ/411/2002(H3N2)、B/香港/330/2001の組合せによるワクチンの接種が勧奨される。

インフルエンザ。カナダ:A型、チリ:A(H3N2)、香港:A(H3N2)、アイスランド:A型大流行中。他地区は減少ないし散發だけ。

10月17日 - 23日届出。コレラ:コンゴ、リベリア、モザンビーク、ニジェール。

2003年10月31日(78巻44号)

ポリオ根絶。エチオピア、ソマリア、スーダン。定期接種率:ポリオ生ワクチン3回終了乳児はエチオピアで64%、スーダンで47%(内戦中の南部では20%)、ソマリアで01年が33%、02年が40%であった。流行地域における5歳未満児に対する定期外臨時接種:エチオピアは03年に250万人、ソマリアは130万人以上、政府掌握地区のスーダンで100~580万人を対象に02年から03年中期中に実施。急性弛緩性麻痺調査:02年の報告でエチオピア539例、ソマリア108例、スーダン371例のうちポリオ野生株確認者はソマリアの2例となっている。

ポリオワクチン緊急集団接種。西アフリカ。ナイジェリアの新しいポリオ発生が周辺諸国にも波及する可能性が高く、1,500万人の小児がリスク状況にいる。ベニン、ブルキナ・ファソ、ガナ、ニジェールで多数のボランティア、地区医療従事者が動員されて02年10月22日から集団接種が開始されている。

10月24 - 30日届出。コレラ:コンゴ、ウガンダ、イラン。

第45週(15年11月3日~11月9日)の4類感染症 (全国)

小児科定点報告疾患

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第29週をピークとし、その後は週により緩急はあるものの減少し続けていたが、第43週から2週続けて増加し、第45週には減少した。過去10年間の当該週と比較して第16週から相変わらず最高の値であり、第45週までの累積定点当たり報告数の過去10年間の平均と比較して2.8倍を示す大きな流行となっている。都道府県別では、鳥取県(0.7)、山形県(0.5)、石川県(0.5)、山口県(0.5)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少したが、第34週から増加傾向が認められている。都道府県別では鳥取県(3.2)、山形県(2.7)、秋田県(1.8)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加し、都道府県別では福井県(12.3)、宮崎県(12.3)、石川県(9.7)が多い。水痘の定点当たり報告数は増加し、過去10年間の当該週と比較して第43週から最高の値となっている。都道府県別では鳥取県(3.1)、宮崎県(3.0)、新潟県(2.9)が多い(「注目すべき感染症」参照)。

* 新しく対象疾患となったRSウイルス感染症の報告は、4県から合計7例であった。

基幹定点報告疾患

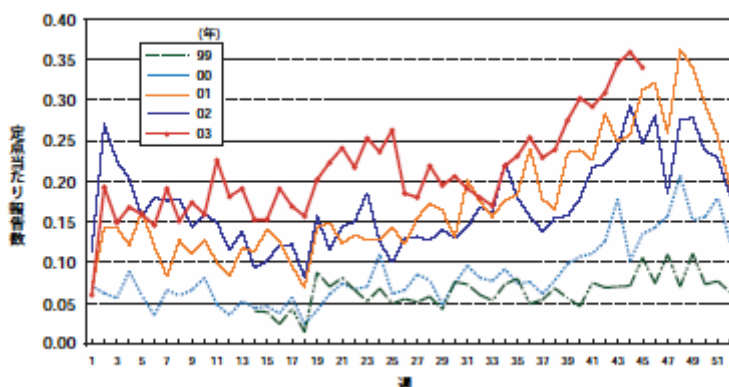
マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少して0.34で、都道府県別では岡山県(3.4)、山形県(2.1)が多い(「注目すべき感染症」参照)。

注目すべき感染症

マイコプラズマ肺炎

マイコプラズマ肺炎は、1999年4月のいわゆる「感染症法」施行以降の発生動向調査では4類感染症定点把握疾患となり、独立した疾患として、全国約500カ所の基幹定点医療機関から報告されている。本疾患は従来4年周期で、オリンピックのある年に流行を繰り返してきたが、近年この傾向は崩れつつある。年間での推移をみると、晩秋から冬にかけて増加がみられている。図に感染症法施行以来の週別の定点当たり報告数を示す。2003年の報告数は過去の報告より高いレベルで推移している。今年は5月下旬~6月上旬に報告数が増加したが、ここ数週間ではその時よりも増加している。年齢群別の報告数では1~4歳が最も多く、続いて5~9歳が多い。今冬のSARS対策としても、鑑別診断としてインフルエンザやマイコプラズマ肺炎などの呼吸器感染症は重要であり、可能な限り病原体を把握することが望まれる。

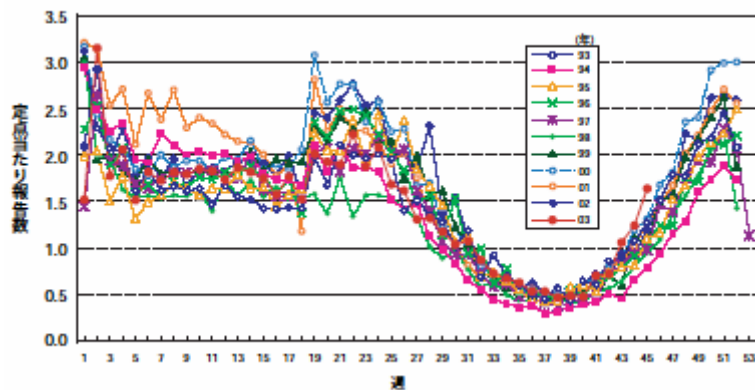
図. マイコプラズマ肺炎の年別週別発生状況



水痘

水痘帯状疱疹ウイルスによって起こる感染症で、潜伏期は2週間程度（10～21日）である。発疹は全身性で掻痒を伴い、紅斑、丘疹を経て短時間で水疱となり、痂皮化する。数日にわたり新しい発疹が次々と出現するので、急性期には紅斑、丘疹、水疱、痂皮のそれぞれの段階の発疹が混在することが特徴である。臨床経過は一般的に軽症で、倦怠感、掻痒感、38 前後の発熱が2～3日間続く程度であることが大半である。しかし、成人ではより重症になり、合併症の頻度も高い。通常呼吸器症状や胃腸症状を伴うことはない。合併症の危険性は年齢により異なり、健康な小児ではあまりみられないが、15歳以上と1歳以下では高くなる。治療としては通常、石炭酸亜鉛華リニメント（カチリ）などの外用が行われる。抗ウイルス剤のアシクロビル（ACV）は、重症水痘、および水痘の重症化が容易に予測される免疫不全者などでは第一選択薬剤となる。健康者の水痘についても、ACVの経口投与は症状を軽症化させるのに有効であると考えられているが、全ての水痘患者に対して投与する必要はないと思われる。インフルエンザと同様に、水痘罹患時にはアスピリンの内服によるライ症候群の危険性があるので、注意を要する。例年、冬季にかけて報告数は増加するが、本年第45週では例年に比べて報告数が多くなっている。年齢別では1～4歳（特に2、3歳）での報告が多い。

図. 水痘の年別週別発生状況



(Infectious Diseases Weekly Report より抜粋

厚生労働省感染症研究所感染症情報センター - 感染症情報室提供)

詳細は感染症情報センター - のホ - ムペ - ジ

(<http://idsc.nih.go.jp/kanja/index-j.html>) の感染症発生動向調査週報を
ご覧下さい。

愛知県感染症情報

2003年第47週(平成15年11月17日～11月23日)

愛知県衛生研究所

		定点数																											
		インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹	RSウイルス感染症	鳥インフルエンザ(高病原性を除く。)	インフルエンザ(高病原性を除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(オウム病は除く。)	成人麻しん	
愛知県(名古屋市を含む)		191	182	35	51	13	9	8	37	281	1,321	334	48	54	124	1	2	16	1	139	0	38	0	1	8	0	1		
総数(名古屋市は除く)		121	112	24	37	12	9	7	31	201	950	263	39	38	110	1	1	13	0	108	0	28	0	1	8	0	1		
名古屋	名古屋市	70	70	11	14	1		1	6	80	371	71	9	16	14		1	3	1	31		10							
尾張東部	瀬戸	9	9	2	3	1	3		3	23	46	14	4	3	6			1		6		2							
海部津島	津島	7	7	2	2	1				1	106	8	6	4	12					13									
尾張中部	師勝	4	4	1	1					7	50	1			2														
尾張西部	一宮	16	12	3	4	1	4	1		18	71	42	2		4			1		6									
尾張北部	春日井	9	9	2	3	1			16	9	103	31	2	2	13			1		19		1				1			
	江南	6	6	1	2					16	107	10	5	3	9			2		5		1							
知多半島	半田	6	6	1	2	1				8	26	8	9	7	12					2									1
	知多	7	7	2	2			2	1	7	62	7	1	5	9					12									
西三河南部	岡崎市	11	7	2	2	1				14	6	27	2	6	11			3		16		2							
	衣浦東部	11	11	2	4	1			5	27	31	39	3	1	8			2		15		1							
	西尾	5	5	1	2	1				4	25	5	1	3	6					5		5							
西三河北部	豊田市	8	8	2	3	1	2	4	3	30	58	29	4	2	6	1	1			7		13							
	加茂	3	3		1					7	15	4								1									
東三河南部	豊橋市	8	8	2	4	1				20	106	19			8			1				2					3		
	豊川	9	8	1	2	1			3	10	138	18		2	4			2		1		1		1	1	4			
東三河北部	新城	2	2			1						1																	

(注)感染症法の一部改正によりRSウイルス感染症が追加、急性脳炎は五類全数把握対象疾患に変更されました。

愛知県感染症情報

2003年第1週～第47週(平成14年12月30日～平成15年11月23日)(累計)

愛知県衛生研究所

	定点数					RSウイルス感染症	く。鳥インフルエンザ(高病原性)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	(成人麻しんを除く。)	麻しん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(オウム病は除く。)	クラミジア肺炎	成人麻しん
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																							
愛知県 (名古屋市を含む)	191	182	35	51	13	12	47,902	1,572	8,642	32,953	13,235	10,999	1,905	6,286	77	65	6,556	177	5,404	34	1,405	8	17	222	0	5		
愛知県 総数 (名古屋市は除く)	121	112	24	37	12	12	38,595	1,190	6,155	22,677	10,560	9,371	1,510	5,052	64	43	4,766	142	4,332	29	1,032	8	16	218	0	5		
名古屋市	70	70	11	14	1		9,307	382	2,487	10,276	2,675	1,628	395	1,234	13	22	1,790	35	1,072	5	373		1	4				
尾張東部 瀬戸	9	9	2	3	1	3	2,755	81	959	1,388	480	200	51	281	7	2	498	13	465	2	43							
海部津島 津島	7	7	2	2	1		1,341	47	103	1,884	552	901	84	248	2		238	2	208	2	33		2	21				
尾張中部 師勝	4	4	1	1			1,378	14	154	1,286	190	186	23	114		5	393	1	170	1	20							
尾張西部 一宮	16	12	3	4	1	4	2,714	47	445	2,796	941	845	144	562	7	1	355	5	266	1	153		1	1				
尾張北部 春日井	9	9	2	3	1		4,291	184	492	1,481	778	804	217	427	3	4	472	7	440	1	79	2	4	6		1		
	江南	6	6	1	2		1,522	72	395	2,199	619	768	114	370	3	1	212	1	157		49							
知多半島 半田	6	6	1	2	1		1,915	19	235	839	283	182	76	279	1	1	160	2	229		18	1		16		3		
	知多	7	7	2	2		2,366	117	512	1,443	652	446	97	371	1	1	345	28	200	2	33							
西三河南部 岡崎市	11	7	2	2	1		4,162	35	409	295	1,030	608	185	604	12		370	1	637	3	96							
	衣浦東部	11	11	2	4	1	5,878	90	517	1,311	1,273	942	127	483	6	1	383	16	785	1	110		2	15				
	西尾	5	5	1	2	1	1,190	17	253	776	481	329	111	210	1	2	146	10	191		60		4	9		1		
西三河北部 豊田市	8	8	2	3	1	5	2,415	95	363	1,592	957	531	84	345	17	20	378	15	342	7	164		2	44				
	加茂	3	3		1		489	16	229	507	167	166	13	60	1	3	83		49									
東三河南部 豊橋市	8	8	2	4	1		3,088	236	673	2,922	917	1,187	96	394	1		375	25	52	7	108	5		53				
	豊川	9	8	1	2	1	2,839	120	414	1,958	1,176	1,226	88	281	2	2	356	13	115	2	66		1	53				
東三河北部 新城	2	2			1		252		2		64	50		23			2	3	26									

愛知県感染症情報

2003年第1週～第47週(平成14年12月30日～平成15年11月23日)(累計)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	RSウイルス感染症	インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病は除く。)	成人麻しん
計	12	38,595	1,190	6,155	22,677	10,560	9,371	1,510	5,052	64	43	4,766	142	4,332	29	1,032	8	16	218	0	5
～6ヶ月	9	518	7	15	273	279	73	9	422	11		72	2	2		6					
～12ヶ月	1	1,096	44	26	1,427	639	458	51	3,059	16	2	450	29	26		15					
0歳																	4	1	3		
1歳		3,228	181	147	3,340	1,900	1,702	84	1,454	14	5	1,184	34	210		29			18		
2歳	1	3,245	183	325	2,555	1,806	1,647	134	92	3	2	912	10	342	1	28			17		
3歳		3,322	187	720	2,530	1,965	1,781	170	12	4	1	834	7	673	2	34			22		
4歳	1	3,517	184	1,172	2,281	1,824	1,560	237	1	4	3	568	8	868	1	33			19		
5歳		2,266	145	1,210	1,795	1,114	1,032	242	2	2	6	387	6	840	1	37					
6歳		1,826	87	893	1,320	463	481	213	4		1	152	7	506		14					
7歳		1,467	53	541	1,002	193	216	114	1	2	4	72	5	293		12					
8歳		1,304	41	339	786	128	139	104	3	2	3	32	4	194	1	14					
9歳		1,336	22	200	624	72	68	46			1	36	2	104		8					
5歳～9歳																		3	52		
10歳～14歳		4,860	24	283	1,487	109	97	73	2	2	3	29	17	174	1	38			30		
15歳～19歳		1,574	3	25	457	12	9	1				8	3	15		32		2	5		
20歳～			29	259	2,800	56	108	32		4	12	30	8	85			4				
20歳～29歳		2,770													10	174		3	16		2
30歳～39歳		3,054													2	228		5	19		2
40歳～49歳		1,183													3	95		2	5		1
50歳～59歳		892													3	115			4		
60歳～69歳		598													1	65			2		
70歳～															3	55					
70歳～79歳		352																	5		
80歳以上		187																	1		